

2月27日(土)、京阪と南海の文化フォーラムの第二弾！

「真田丸の戦略と真田信繁(幸村) の実像に迫る！」を開催します

京阪電気鉄道株式会社(社長:加藤 好文)と南海電気鉄道株式会社(社長:遠北 光彦)は、2社のコラボ企画の第二弾となる「京阪・南海文化フォーラム」を2月27日(土)に開催します。

両社では、沿線の活性化を目的として「京阪・文化フォーラム」(平成15年から)および「南海沿線文化セミナー」(平成20年から)をそれぞれ開催しています。

本年は「京阪電気鉄道創立110周年」にあたり、昨年「南海電気鉄道創業130周年」であったことから、それぞれを記念して、昨年12月5日に両社共同で初めての文化フォーラムを南海沿線(高石市)で開催いたしました。

今回は京阪沿線(枚方市)で「真田丸の戦略と真田信繁(幸村)の実像に迫る！」をテーマとした講演会を開催いたします。

ぜひ奮ってご参加ください。詳細は以下のとおりです。

1. 「京阪・南海文化フォーラム」について

(1) テーマおよび内容・講師

激戦が繰り広げられた「大坂の陣」。当時、絶大な権勢を誇っていた徳川家とその軍勢に対し、劣勢の豊臣方を支えたのは真田信繁(幸村)であり、徳川家康本陣に突撃し、あと一步まで迫りました。真田信繁が築いた防御ではなく攻めるための拠点「真田丸」を解明し、その戦略に迫るとともに、真田信繁の実像をつまびらかにします。

第一部 「真田丸と大坂の陣-真田信繁はなぜ真田丸を築いたのか-」

①内容 真田丸は豊臣大坂城の弱点であった上町台地がつづく南側を守るためにつくった「馬出し」と説明されてきましたが、絵図と地形を読み解いて真田丸を改めて検討すると、独立したひとつの城であったことがわかりました。真田丸の本当の役割を解明し真田信繁の戦略に迫ります。

②講師 城郭考古学者/奈良大学 学長 千田 嘉博(せんだ よしひろ)氏

第二部 「幸村の子孫が語る『真田幸村 虚像と実像』『大坂の陣後の幸村の子女達』」

- ①内容 真田幸村の子孫である真田 徹氏が真田幸村や幸村の娘「阿梅」をはじめとする幸村の一族のその後について講演し、真田幸村の実像に迫ります。
- ②講師 歴史研究家／幸村第14代 仙台真田家第13代当主 真田 徹（さなだ とおる）氏



千田 嘉博 氏
撮影：畠中和久



真田 徹 氏

(2) 開催日時

平成28年2月27日（土） 14:00～16:30（開場 13:00）

(3) 開催場所

枚方市市民会館大ホール（枚方市岡東町8-33）

※京阪本線枚方市駅下車 徒歩約5分

(4) 募集定員

1,448人（先着順・事前申し込み制）

(5) 参加費

1,000円（税込）

(6) お申し込み方法

①京阪電気鉄道オフィシャルサイトでのお申し込み

【応募期間】1月19日（火）から2月19日（金）まで

【アドレス】<http://www.okeihan.net/forum/>

②郵送でのお申し込み

チラシ（京阪および南海主要駅などに設置）裏面のはがきまたは郵便はがきに必要事項を記入して以下の宛先にお送りください。

【応募期間】1月19日（火）から2月19日（金）まで ※当日消印有効

【必要事項】参加ご希望者（複数人の場合は代表者）の ①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③職業（学校名）④年齢 ⑤性別 ⑥人数（最大2人まで）

【お送り先】〒540-6591

マーチャンダイズビル内郵便局私書箱35号

京阪電車 事業推進担当 「京阪・南海文化フォーラム」係

◆当選者への連絡

順次、当選者宛に入場引換書を郵送またはメールにてお送りします。

(7) 主催

京阪電気鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社

(8) 後援

朝日新聞社、読売新聞社、歴史街道推進協議会

2. お客様のお問い合わせ先

京阪電車 京阪・南海文化フォーラム係 TEL：06-6944-2542

(土・日・祝・休日を除く：9：00～18：00)

以 上